

交通局

交通事業会計要求総額 2,372 百万円
(対前年度 +0.7%)

収益的収入 2,206 百万円

収益的支出 2,205 百万円

差引 +1 百万円

単年度資金収支 +1 百万円

【令和8年度 予算要求の方針】

交通局では、「第4次北九州市営バス事業経営計画（令和8年度～令和12年度）」を着実に実行することにより、「北九州市・新ビジョン」の実現を目指します。

また、計画目標である収益的収支の均衡を目指し、持続可能な公共交通ネットワークの一翼を担い、「市民の生活の足」を守り続けます。

【令和8年度 予算要求の基本的な考え方】

●「彩りあるまち」の実現 要求額 2,372百万円(対前年度 +0.7%)

市営バスを取り巻く現状と課題、可能性を踏まえ以下の3つの基本的な考え方のもと、具体的な取組（アクション）を推進します。

1 「市民の生活の足」を守り続ける

- ・人材の安定的な確保
運転者の適切な処遇の確保
- ・効率的な路線・運行形態の構築
利用者が多い路線・系統の維持強化
⇒ 学術研究都市の新規路線と大増便
利用者が少ないが「生活の足」として必要な路線の効率化
- ・安全で安心した交通サービスの提供
安全・安心な運行（運転者を対象とした研修の充実）



2 「乗りたいくなるバス」を目指す

- ・利用者サービスの向上策
「ふれあい定期70」（70歳～74歳のフリー定期券）の新設
小・中・高校生向け運賃「こどもミライ割」の新設
- ・利用促進を目指した情報発信の強化
乗り方教室等を通じた地域PRの実施

土日・祝日・夏休みなどの休業日
小学生：無料
中・高校生：100円

3 経営基盤の強化

- ・収入の確保
運賃体系（運賃、定期、企画券）の見直し
貸切・受託事業の強化
- ・効率的な路線・運行形態の構築【再掲】
- ・継続的な改善
交通局全職員の経営改善意識の共有

初乗運賃
190円 → 240円
1日乗車券
700円 → 1,000円



※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和8年度に実施することが確定しているものではありません。

重点的に取り組みたい主なもの

(単位：千円)

「稼げるまち」の実現		
該当なし		
「彩りあるまち」の実現		
1		【事業名】交通事業 【事業費】2,371,600千円
		【事業概要】 北九州市西部地区における公共交通である市営バスの運行に関する事業を実施する。 「第4次北九州市営バス事業経営計画（令和8年度～令和12年度）」を着実に実行することにより、「北九州市・新ビジョン」の実現を目指す。 また、計画目標である収益的収支の均衡を目指し、持続可能な公共交通ネットワークの一翼を担い、「市民の生活の足」を守り続ける。
「安らぐまち」の実現		
該当なし		
その他の取り組み		
該当なし		